

# 平成27年度 第3回学都仙台コンソーシアム運営委員会議事要録

## 1. 日時

平成27年12月2日(水) 10時30分～12時00分

## 2. 場所

復興大学本部 (AERオフィスフロア 7階)

## 3. 出席者

宮城光信運営委員長(東北工業大学)、阿部芳吉運営副委員長(仙台大学)、  
水田恵三運営副委員長(尚絅学院大学)、杉田博委員(石巻専修大学)、  
木村昭代委員(聖和学園短期大学)、宮崎正美委員(仙台白百合女子大学)、  
吾妻一興委員(仙台青葉学院短期大学)、千葉昭彦委員<企画部会長>(東北学院大学)、  
北折整委員(東北生活文化大学・短期大学部)、佐藤義幸委員<広報部会長>(東北大学)、  
門眞大輔氏(東北文化学園大学)(三木賢治委員代理)、戸野塚厚子委員(宮城学院女子大学)  
中井滋委員<サテライトキャンパス部会長>(宮城教育大学)、  
小松督記委員(宮城誠真短期大学)、長屋正人委員<単位互換部会長>(宮城大学)、  
斎藤千春委員(放送大学宮城学習センター)、内海康雄委員(仙台高等専門学校)、  
松崎修一氏(東北多文化アカデミー)(押谷祐子委員代理)、八島和彦委員(みやぎ工業会)、  
高橋恵子氏(理化学研究所)(青田祥信委員代理)、中村今日子委員(宮城県)、  
畑中雄貴氏(仙台市)(天野元委員代理)

以上 「順不同」

(委員数 27 名 / 出席数 22 名)

## 4. 議事

### ◆審議事項

#### 1. 復興大学事業の組入れについて

事務局より、配付資料に基づき、復興大学事業の組入れについて説明された。続いて東北工業大学地域連携センター事務長より、配付資料に基づき、復興大学事業は外部資金を取得し、独自予算にて運営されることが説明された。審議の結果、平成28年度より復興大学事業を学都仙台コンソーシアムの事業として引き継ぎ、コンソーシアムの事業部会(新設)として組入れることが承認された。

#### 2. 単位互換サテライトキャンパス開講科目及び、サテライトキャンパス公開講座の出講に伴う負担金について

事務局より、配付資料に基づき、単位互換サテライトキャンパス開講科目及び、サテライトキャンパス公開講座の出講に伴う負担金について説明された。続いてサテライトキャンパス部会長及び単位互換部会長より、配付資料に基づき説明された。審議の結果、サテライトキャンパス公開講座の負担金については、平成28年度は平成25年度以前と同様に負担〔1コマ5,000円〕することが承認された。単位互換サテライトキャンパス開講科目の負担金についても、同様に負担〔半期48,000円〕することとしたが、再度単位互換部会で検討の上、第4回運営委員会で審議を行うこととなった。

### 3. 学都仙台コンソーシアム10周年記念事業について

企画部会事務局より、配付資料に基づき、学都仙台コンソーシアム10周年記念事業について説明された。審議の結果、基調講演とパネルディスカッション、懇親会（会費制）を中心とした記念事業案が承認され、今後は実行委員会を発足し、より具体的な検討を行っていくこととなった。

なお、記念事業は、学長会議との共催で開催することとした。

### 4. コンソーシアム加盟機関以外の企業・団体等との関わり方に関する方針について

事務局より、配付資料に基づき、コンソーシアム加盟機関以外の企業・団体等との関わり方に関する方針について説明された。審議の結果、新たなステークホルダーとの連携強化に向けた方針が承認され、具体的な実施およびアプローチについては、先に各事業部会において検討を開始することとなった。

## ◆報告事項

### 1. 各事業部会の活動報告について

各事業部会より、配付資料に基づき、活動報告が行われた。主な内容としては、単位互換部会より懸案事項である遠隔事業システムの継続問題について報告され、サーバー運用に係る経費負担が大きいことから、サーバーの利用停止も含めて検討していくこととなった。

### 2. 復興大学の活動報告について

東北工業大学地域連携センター事務長より、配付資料に基づき、活動報告が行われた。

## ◆その他

1. 事務局より、各事業部会の平成28年度事業計画及び予算要求の作成について説明があった。
2. 事務局より、平成28年度運営委員の選出について説明があった。
3. 東北多文化アカデミーより、学都仙台コンソーシアム後援名義使用の事業について報告があった。
4. 事務局より、第4回運営委員会を1月中旬から下旬に開催する予定であることが報告された。

以上